

もっと安心農産物 スイカ(トンネル)栽培暦(令和6年)

JA富里市 西瓜部

1. 土づくり

作付前に堆肥を施用する

2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守

	肥料名	施肥量
基肥	有機入りペレット652 6-5-2	200kg/10a
	<土壌改良資材> セルカ(有機石灰)・苦土石灰・畑のカルシウム 硫マグ・苦土重焼燐・BM ようりん・硫加・土づくり12号	土壌診断結果により必要量を施用

3. 防除 化学合成農薬 13 カウント(成分×回数)まで (苗購入の場合 11 カウントまで)

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	グループ	希釈倍数・処理量(収穫前日数)	対象病害虫	備考(耕種的防除の実施等)
1月	は種 施肥	センチュウ 立枯病	D-D	I8A	15~20ℓ/10a (作付10~15日前まで)	ネコブセンチュウ	苗床でずらしを実施し、ガッチリとした苗づくりをする
2月			または ネマトリユース粒剤	I1B	15~20kg/10a (定植前)	ネコブセンチュウ	
3月	定植		スタークル粒剤	I4A	2g/株 (定植時)	ワタアブラムシ	アブラムシ・ハダニ防除のため圃場周辺の除草を実施する
4月	交配	アブラムシ うどんこ病 菌核病	ベルコート水和剤/フロアブル	FM7	1000倍 (前日まで)	菌核病、炭疽病 つる枯病 うどんこ病	換気を実施し、病害の発生をおさえる
			ウララDF	I29	2000~4000倍 (前日まで)	アブラムシ類	
5月		アブラムシ うどんこ病 菌核病	パロックフロアブル	I10B	2000倍 (前日まで)	ハダニ類	うどんこ病はまん延してからでは遅いので早めに防除を行う 晴天時の散布には薬害に注意する
			カンタドライブフロアブル	F7	1000~1500倍 (前日まで)	菌核病	
			チェス顆粒水和剤	I9B	5000倍 (3日前まで)	アブラムシ類	
6月	収穫	アブラムシ うどんこ病 菌核病	ダニサラバフロアブル	I25A	1000倍 (前日まで)	ハダニ類	散布する際は、葉裏までかける。1週間隔の2回散布が有効
			ベルコート水和剤/フロアブル	FM7	1000倍 (前日まで)	菌核病、炭疽病 つる枯病 うどんこ病	
			モベントフロアブル	I23	2000倍 (前日まで)	アブラムシ類 ハダニ類、アザミウマ類	
			スピノエース顆粒水和剤(0カウント)	I5	5000倍 (前日まで)	アザミウマ類	
			ストロビーフロアブル	F11	2000~3000倍 (前日まで)	うどんこ病 つる枯病、炭疽病	

☆変更可能な農薬（上記の表の農薬と変更して、認証基準を超えない範囲で使用可能）

薬剤名	グループ	希釈倍数・処理量	対象病害虫	使用時期 (収穫前)
ドロロール	I8B	1穴当たり2~3ml	つる割病、センチュウ類 他	
ソリーン (2成分)	I8A+I8B	1穴当たり2~3ml	つる割病、センチュウ類 他	植付の10~15日前まで
ディートラックス油剤 (2成分)	I8A+I8F	30~40L/10a	つる割病、センチュウ類、一年生雑草	植付の21日前まで
オーソサイド水和剤 80	FM4	800倍	苗立枯病	は種後2~3葉期まで
		600倍	つる枯病、べと病	14日前まで
ネマキック粒剤	I1B	15~20kg/10a	ネコブセンチュウ	定植前
マイコーネフロアブル	I20D	1000倍	ハダニ類	前日まで
ロディー乳剤	I3A	1000~2000倍	アブラムシ類、ハダニ類	前日まで
モスピラン顆粒水溶剤	I4A	2000~4000倍	アブラムシ類、アザミウマ類	3日前まで
アフーム乳剤	I6	1000~2000倍	アザミウマ類、コナジラミ類(2000倍)	前日まで
アグリメック	I6	500~1000倍	アザミウマ類、ハダニ類	前日まで
コルト顆粒水和剤	I9B	4000倍	アブラムシ類、コナジラミ類	前日まで
フェニックス顆粒水和剤	I28	2000~4000倍	ウリメイガ オオタバコガ ハスモンヨトウ	前日まで
デュアルサイド水和剤	IUNE+F19	2000倍	ハダニ類、アザミウマ類、うどんこ病	3日前まで
スミレックス水和剤	F2	1000~2000倍	菌核病 ※つる枯病(1000倍)	7日前まで
ロブラール水和剤	F2	1000倍	つる枯病、菌核病	前日まで
ダコニール 1000	FM5	700~1000倍	つる枯病、炭疽病	3日前まで
プロパティフロアブル	F50	3000~4000倍	うどんこ病	前日まで
ショウチノスケフロアブル (2成分)	FU13 +F9	2000倍	うどんこ病	前日まで
トリフミン水和剤	F3	3000~5000倍	うどんこ病	前日まで
スコア顆粒水和剤	F3	2000倍	うどんこ病、炭疽病、つる枯病	前日まで
パンチョ TF 顆粒水和剤 (2成分) ※トリフミン水和剤の成分含む。総使用回数注意	FU6 +F3	2000倍	うどんこ病	前日まで
シグナム WDG(2成分) ※カンタストライフロアブルの成分含む。総使用回数注意	F11+F7	1500~2000倍	うどんこ病、つる枯病、炭疽病	前日まで
アミスター 20フロアブル	F11	2000倍	つる枯病、炭疽病	前日まで
カスミンホールドー	F24+FM1	1000倍	うどんこ病、褐斑細菌病	前日まで

☆ちばエコ農業で化学合成農薬に含めない農薬(0カウント)

薬剤名	グループ	希釈倍数・処理量	対象病害虫	使用時期(収穫前)	使用回数
コロマイト乳剤	I6	1000倍	ハダニ類	7日前まで	2回以内
スピノエース顆粒水和剤	I5	5000倍	アザミウマ類	前日まで	2回以内
カグリーン	FNC	800~1000倍	うどんこ病	前日まで	—
イオウフロアブル	IUM+FM2	500倍	うどんこ病	—	—

同じ数字・文字は、同じグループです。農薬のローテーションは、異なるグループで行ってください。

★使用する前に必ず農薬のラベルで使用基準・注意事項を確認して下さい。

★デュアルサイド水和剤は、1カウントとなりますのでご注意ください。